

# 浜村地区

## 地域コミュニティ計画

平成23年9月



気高中学校下の「いわし山」より浜村地区を望む

きらり☆浜村まちづくり協議会

# 目 次

I	【地域コミュニティ計画】策定の経過と位置づけ .....	1 頁
	(1) 【策定までの経過】 .....	1 頁
	(2) 【地域コミュニティ計画】基本目標 .....	2 頁
II	浜村地区の紹介 .....	3 頁
	(1) 行政区 .....	3 頁
	(2) 浜村地区略図 .....	3 頁
	(3) 主な祭礼 .....	3 頁
	(4) 温泉にかかわる伝説 .....	4 頁
III	浜村地区の課題 .....	5 頁
	地域住民からのアンケートより .....	5 頁
	課題項目別一覧表 .....	6 頁
	地域コミュニティ計画書の見方・組織図 .....	7 頁
	「地域コミュニティ計画 (文化事業) .....	8 頁
	「地域コミュニティ計画 (環境・福祉事業) .....	9 頁
	「地域コミュニティ計画 (啓発事業) .....	10 頁
IV	きらり☆浜村まちづくり協議会構成員名簿 .....	11 頁

## I 【地域コミュニティ計画】策定の経過と位置づけ

浜村地区では平成21年5月14日に開催された設立総会において規約、構成員、運営委員会委員、組織等が決定された。

設立準備委員会の時点で地域住民へのアンケートを実施し、その結果に基づき会長を中心に運営委員会で当面の取り組み、予算について検討してまいりました。

浜村地区では、地域活動への参加者の減少など、人と人とのつながりが弱まり、地域の連帯感が希薄化している中で、住民が一体となって地域の課題の解決に取り組むことを目標に、住みよいまちづくりを実現するため、「地域コミュニティ計画」を策定し、課題の解決に向けて地域住民一丸となって推進する。

### (1) 【策定までの経過】

この「地域コミュニティ計画」は地域の現状を地域住民からのアンケートにより把握し、課題の解決に向けて「きりり☆浜村まちづくり協議会」の運営委員会で検討を重ねた結果を下表にまとめました。

年 月 日	内 容
平成21年 5月14日	設立総会 ・名称の承認・規約の承認・構成員の検討と承認・運営委員会委員の承認・組織図の承認 ・予算についての考え方・当面の取り組みについて協議
平成21年11月12日	第1回運営委員会 ・運営委員長及び副委員長の選任について ・平成21年度並びに平成22年度事業について。
平成21年11月26日	役員会 ・専門部長・副部長および部員について ・事業計画について
平成21年12月10日	役員会 ・今後の運営、アンケート、専門部について
平成22年 1月13日	三役会 ・今後の運営について
平成22年 2月 4日	役員会 ・専門部長・副部長の選任について ・事業計画について
平成22年 2月25日	専門部会 ・事業内容について ・地域コミュニティ計画案の作成について
平成22年 3月14日	花いっぱい運動(プランター) ・小学校・ゆうゆう健康館 ヤサホーパーク等に設置

平成22年 4月27日	役員会 ・各専門部の内容について ・今後の日程について
平成22年 6月 5日	啓発部会 ・アンケートについて
平成22年 6月 8日	運営委員会 ・アンケートについて ・今後の取り組みについて
平成22年 7月 8日	運営委員会 ・貝がら節祭りについて ・アンケートについて
平成22年 7月25日	全戸にアンケート配布
平成22年 7月31日	貝がら節祭りに参加
平成22年 9月22日	役員会 ・アンケートの集計方法について ・コミュニティ計画について
平成22年 9月24日	啓発部会 ・アンケート集計方法について
平成22年10月 1日	啓発部会 ・アンケート集計
平成22年11月17日	運営委員会 ・アンケート集計結果について
平成22年12月 5日	花いっぱい運動
平成22年12月15日	役員会 ・足湯と多目的広場について
平成23年 2月12日	役員会 ・足湯の管理と芝植えについて
平成23年 3月 2日	運営委員会 ・足湯の管理・芝植え・キャラクター選考について
平成23年 3月22日	運営委員会 ・役員選考・足湯の管理・芝植えについて

## (2)【地域コミュニティ計画】基本目標

この「地域コミュニティ計画」は、本格的な高齢化社会の中にあって恵まれた自然環境のもとに人と人との交流を通して、浜村地区に暮らす人々が心身ともに健康で安心した生活を送るなかで、いかに明るく活力のある住みよい町にするかを目標に、地域住民が一丸となって課題の解決に向けて取り組むものである。



#### (4) 温泉にかかわる主な伝説

##### ① 山の内の湯

1729年7月22日の夜半、当主の与左衛門の枕元に青衣を着たすぐれた人がお立ちになり裏庭に案内したところ、ここを掘りなさい、必ず福があるといって消えた、夢であったと残念がったが、翌朝掘ると湯が噴き出したという。

##### ② 鷺ノ湯

昔、勝見の薬師堂付近から北の浜村砂丘の内側にかけて大きな沢が広がり、一面に葦が生えていた。

ある日のこと、一羽の白鷺が片足を痛めて沢の中に舞い降りて、じっと蹲くまっていた。15日ほど経ったころ、傷が治ったと見えて、いい声をあげて元気よく飛び去って行った。村人は不思議に思い、その場所を調べてみると、そこから温泉が湧いていた、村人はそこを本格的に掘って小屋を建て、「鷺の湯」と呼んで入浴したという。

##### ③ 姫石温泉

鹿野城主の亀井茲矩が幼い姫を連れてたびたび入浴したと伝えられる、その折、湯壺が深くて姫の背がとどかなかったので、家来が手ごろな青白い石を拾ってきて湯に沈め、姫をその上に立たせたという。それ以来茲矩はこの石を、「姫が石じゃ」と村人に言い姫の専用に使った。これにちなんで村人は「姫石温泉」と呼ぶようになった。

### Ⅲ 浜村地区の課題 地域住民からのアンケートより

1. 浜村川河川敷の雑草が生い茂り、空き缶、ペットボトル等の投げ捨てがある、海からのゴミも増えてきた。
2. 永江川の環境整備が急がれる、八幡部落で地内の草刈りを年3回実施しているが、難しい、永江川に魚が住める川にしてほしい。
3. みどり1号線愛称「文芸の小路」(県道から海に通じる遊歩道)に雑草が生い茂り見苦しい。
4. 地域の美化運動にもっと力を入れるべきだと思う、主要観光地のみが目が向けられがちだが、その周辺の地域は道路周辺にはごみが散乱し地元住民が見ても見苦しい。
5. 浜村地区には文化的催しがない。
6. 「貝がら節の里ヤサホーパーク」に子供も大人も多くの人が憩いの場所として集うことのできる環境づくり。
7. JR浜村駅および温泉側がとてもさみしいような感じがする、以前は活気があった。
8. 道路周辺にジュースの空き缶のポイ捨てが目立つ、自転車通学のマナーの悪さも感じられる。
9. 小学生が気持ちよく登下校できる環境づくり。
10. 釣り客、海水浴客、サーファーのポイ捨てが目立つ。
11. 他地域からのゴミの持込がある。
12. ペットの飼い主のマナーの向上が必要。

アンケート結果を踏まえ、地域コミュニティ計画の骨子となる項目別一覧表を作りました。

課題項目別一覧表

資料1

課 題 項 目 一 覧	課 題 解 決 の 目 標
地区内施設（公園・運動広場・文芸の小道）などの有効利用。	ヤサホーパークの活用及び活用の促進。 清掃、草刈など環境整備。 施設の特徴を生かした事業を企画実施する。
河川の雑草が生い茂りゴミが散乱している。	各河川に守る会を発足させる。 各団体に呼びかけ一斉清掃日などを設定し、環境維持に努める。 河川敷にコスモス、菜の花などを植える。
地域活動への参加者の減少など、地域住民の連帯感がない。	対面社会の確立。 コミュニティの充実強化。 各部落との連携を深める。
道路周辺に、ゴミ・空き缶・ペットボトルなどのポイ捨てが多い。	美化運動の推進。 不法投棄監視員との連携。 各自治会ごとの一切清掃。
文化的な催しが少ない。	中央公民館・地区公民館・部落公民官と連携し芸能、作品発表会などを開催する。 講演会・講習会を開催する。
きらり☆浜村まちづくり協議会が周知されていない	地道な啓発活動。 たよりの発行・ホームページ。 対面活動による口こみ。

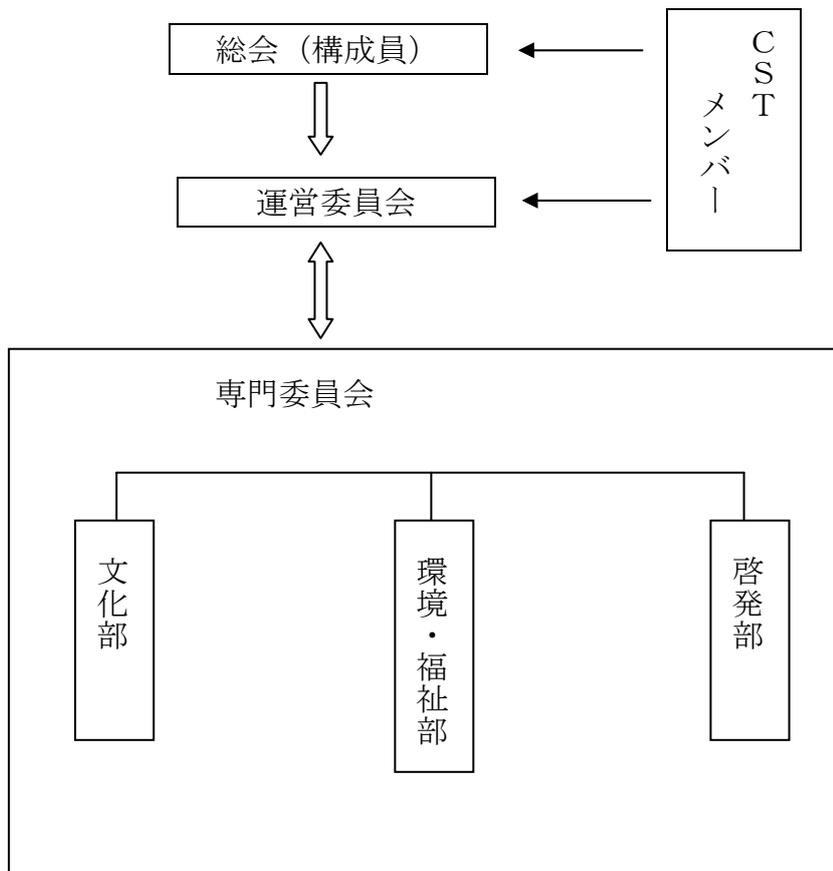
資料1を基に、きらり☆浜村まちづくり協議会の認知度、組織の体力を考慮しながら、次に挙げる「地域コミュニティ計画」(1)～(3)を作成し、地域の課題解決への取り組みとします。

事業は毎年評価を行い、調整、修正・見直しを行いながら、今後発生するであろう新たな課題に取り組むと共に、必要に応じ他団体との連携、協力を行いながら実施し、地域ぐるみへと拡充します。

地域コミュニティ計画書の見方

重要度		緊急度	優先順位	目 安		役割分担	
AAA	最重要	○印 緊急	1より 優先	短期	5年以内	地域	地域中心
AA	重要			中期	10年以内	協働	地域・行政
A	やや重要			長期	10年以上	行政	行政中心

【組織図】



## 文化事業

**【目標】**

中央公民館、地区公民館、地域福祉推進協議会、まちづくり協議会の明確化を図りながら  
且つ、連携し、協力体制を整え地域住民の期待に応える。

事業内容案	事業実施目標案	重要 度	緊急 度	優先 順位	実施期間			実施 年度	役割 分担
					短期	中期	長期		
貝がら節祭り	練習、参加により親睦を 深める	AAA	○	1	○			22 年度	地域
文化祭	気高町文化祭への協力 参加	AAA	○	1	○			23 年度	地域
講演会・講習会	地区公民館と連携し開 催	AAA	○	2	○			24 年度	地域

## 環境福祉事業

**【目標】**

人と人とのつながりが弱まり、地域の連帯感が希薄化している中、子どもから高齢者まで交流できる場を提供し、コミュニティの輪を広げて安全で、安心な住みよいまちを作る。

事業内容案	事業実施目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間			実施年度	役割分担
					短期	中期	長期		
ヤサホーパークの活用促進	足湯の清掃	AAA	○	1	○			23年度	地域
	多目的広場の芝生化	AAA	○		○			23年度	地域
	公園愛護会への加入	A				○			
河川の清掃・草刈	草刈の実施	AAA	○	3	○			25年度	地域
	一斉清掃日の計画実施	AA				○			協働
	河床の除草及び整備	AA				○			行政
地域内の環境美化	美化運動の推進	AA	○	2	○			22年度	地域
	地域内一斉清掃	AA				○			協働
	不法投棄監視員との連携	AA	○		○			25年度	協働

## 啓発事業

**【目標】**

途切れることなく、地道に啓発活動を続ける事で周知を図る。

事業内容案	事業実施目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間			実施年度	役割分担
					短期	中期	長期		
たよりの発行	見やすい紙面づくり 部落、小中学校の行事 等取材し掲載する	AAA	○	1	○			23 年度	地域
ホームページ、 データ放送の利用	ネットによる広域広報	AAA	○	1	○			23 年度	地域
対面活動による 口コミ	地域住民と密着した活 動	AAA	○	1	○			23 年度	地域

きらり☆浜村まちづくり協議会構成員名簿

NO	区分		代表者名	NO	区分		代表者名	
1	区 長	浜村	田中秀治	34	老人 クラブ	温泉	浜辺千昭	
2		温泉	恩田孝					
3		新泉	清水常爾	35		勝見	石原康夫	
4		新町1区	清水周策	36		八幡	田中平志朗	
5		新町2区	近藤敏彦	37		下原	尾崎規恵	
6		西浜	土橋政弘	38		姉泊	谷口武	
7		東浜	中原千秋	39		姫路	宮崎弘行	
8		グレースタウン	房安住子	40		浜村	鈴木拓郎	
9		勝見	中林保	41		船磯	浜辺清	
10		栄町	山下利雄					
11		八幡	谷口光徳	42		観光協会会長	池原隆秋	
12		下原	徳田綾二	43		ふれまち会長	地原達夫	
13		姉泊	谷口義則	44		食生活改善推進員	金田稚苗	
14		姫路	田中政広	45		防犯協議会会長	桐谷賢郎	
15		船磯	中上幸人	46		消防団第一分団	村上健	
	地域 審議 会委 員	まちづくり協議会	松本弥生	47	教育振興会長	松本弥生		
16		市農業委員	田中清晴	48	浜村小学校長	前田哲雄		
17		県漁協浜村支所長	田淵孝則	49	浜村地区体育会長	關木豊		
18		元気高町教育長	横田昭男					
19	公募	濱田英一						
20	民 生・ 児 童 委 員	浜村	木下恭一	50	運 営 委 員	運営委員長	清水常爾	
21		温泉	田中弘子	51		運営副委員長	地原忠実	
22		新泉	松井千晶			文化部長	竹内寛恵	
23		新町1区	西山満	52		体育部長	關木豊	
		新町1区	松本弥生	53		青少年育成部長	田淵由美子	
24		新町2区	浜本秋夫	54		新泉	鈴木みどり	
25		勝見	鍋浜裕美子	55		姉泊	箕原幸恵	
26		栄町	秋吉康夫	56		新泉	秋田真作	
27	姉泊	浜辺信康	57	新町1区	竹森智洋			
28	姫路	濱田逸子	58	新町2区	花田由夏			
29	役 員 商 工 会	新町2区	田中敦志	59	会 長 推 薦	新町1区	森田尚子	
30		新泉	長鈴子	60		姫路	吉田里美	
31		新町1区	尾崎和也	61		姫路	北村光央	
32	指 導 員 交 通 安 全	姫路	長田広美	62		姉泊	三橋慶子	
33		八幡	田淵三香子	63		新町1区	植木真理子	
		新町1区	松本弥生	64		新町2区	前田浩司	
						新町2区	松嶋巖夫	
CST	リーダー	産業建設課長	山本正信			浜 村 地 区 公 民 館	館長	桐谷賢郎
	サブリーダー	交通制作室長	鈴木敏				主任	田淵由美子
	スタッフ	地域振興課主幹	關木豊	65			主事	山本忠孝
	スタッフ	地域振興課主任	石井盛光		主事		竹内寛恵	